

すべての学校でエコスクールづくりを目指して —既存学校施設のエコスクール化のための事例集—

- 低炭素社会の実現に向けた取組みをより一層推進することが必要
- すべての学校でのエコスクール化を目指し、既存学校施設の「エコスクールづくり」に積極的に取り組むことが重要
- このため、学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議の下に部会を設置し、本事例集を作成

I 現状と今日的課題 ～今、なぜ既存学校施設のエコスクール化なのか～

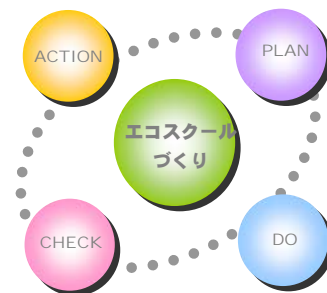
- 1 地球温暖化問題とこれまでの取組
- 2 既存学校施設のエコスクール化の課題



II 既存学校施設のエコスクール化の進め方 ～何から始めたらよいか～

1 基本的な考え方

- 1 実態を把握し、効率的な施設運営を目指す
- 2 施設水準の確保と環境負荷低減の両立を目指す
- 3 地域の環境・エネルギー教育の拠点をを目指す



2 エコスクール化の手順とポイント

1 準備段階

- ポイント1 既存データ活用による実態把握
- ポイント2 自治体の環境施策との連携

3 改修整備の検討・実施

- ポイント5 関係者が一緒に考える
- ポイント6 対策メニューを組み合わせ、効果を上げる

2 エコスクール化計画の策定

- ポイント3 ライフサイクルを通して環境負荷を抑える
- ポイント4 画一でなく、それぞれの学校に適した計画

4 整備後の環境・エネルギー教育での活用

- ポイント7 既存の教育活動につなげ、新たな負担なく環境教育に活かす

5 関係機関との連携・成果の普及

- ポイント8 取組の輪を広げる

III 取組事例 ～先進的な取組から学ぶ～

1 自治体におけるすべての学校のエコスクール化の取組

事例1 東京都杉並区

事例2 神奈川県藤沢市

2 既存学校施設のエコスクール化の取組

事例3 東京都荒川区立第七峡田小学校

事例4 岐阜県高山市立北小学校

事例5 エネルギー消費実態を把握しやすくし、効率的な施設運営を目指した例

事例6 施設水準の確保と環境負荷低減の両立を目指した例

事例7 地域の環境・エネルギー教育の拠点を旨とした例



校庭の芝生化
(東京都杉並区立和泉小学校)

IV 参考資料

環境を考慮した学校づくり検討部会

伊香賀俊治(慶應義塾大学理工学部教授)

(検討部会特別協力者)

伊東 友忠(世田谷区教育委員会事務局施設課長)

海野 剛志(川崎市教育委員会教育環境整備推進室長)

押尾 和子(葛飾区立新宿小学校長)

新保 幸一(国立教育政策研究所文教施設研究センター長)

小泉 治(株式会社日本設計プロジェクト統括本部部长)

村岡 泰孝(藤沢市教育委員会教育総務部担当部長)

小峯 裕己(千葉工業大学工学部教授)

島田 光正(東京都環境局都市地球環境部計画調整課長)

(以上10名、五十音順、敬称略)

○長澤 悟(東洋大学理工学部教授)

(○:部会長)

検討経緯 平成21年6月～平成22年3月 協力者会議(全5回)、検討部会(全5回)